

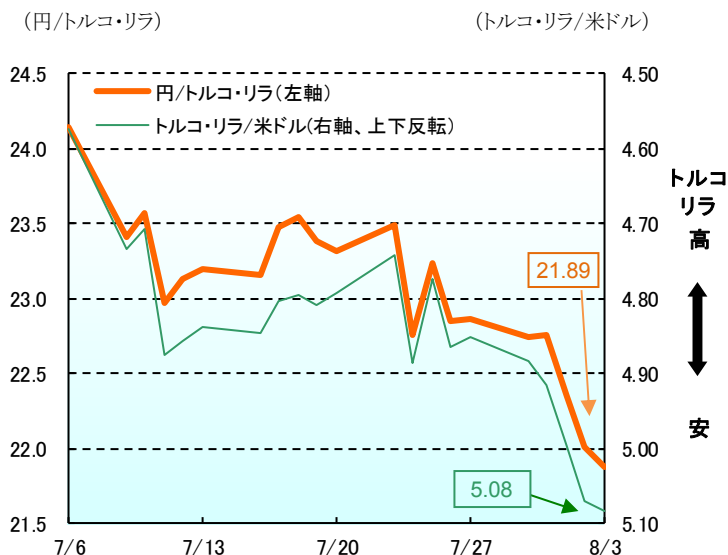
### 【2018年7月28日～2018年8月3日までの推移】

#### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに下落しました。トルコの2年国債金利は上昇しました。

トルコによる米国人牧師(キリスト教福音派のアンドルー・ブランソン牧師)の拘束をめぐって、米国は同国の閣僚2人(ギョル法務大臣とソイル内務大臣)に対して、米国内の資産の凍結および米国の企業や機関による両氏との取引禁止の制裁を科しました。これを受けてトルコ・リラは売られ、対米ドル・対円ともに史上最高値を更新しました。国債も売られ、金利は上昇しました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2018年7月6日～2018年8月3日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

#### 【2】今週の見通し

米国の制裁に対して、トルコ外務省は「トルコの司法制度への介入である」と強く反発する声明を発表しました。一方、キリスト教福音派はトランプ米大統領の支持者が多く、トランプ米大統領には11月の中間選挙を前に強硬姿勢を示すことで支持者にアピールする狙いがあるとみられるため、米国側から矛を収める可能性は低いと考えます。

今週は経済指標では6月の経常収支が発表されますが、市場の注目はもっぱら対米関係となりそうです。トルコ政府の対応に注意が必要と考えます。

【トルコ 金利推移】 (2018年7月6日～2018年8月3日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>